

「フェアネス（公平性）の高い社会づくり」

これが一般社団法人男女共同参画地域みらいねっとのめざす社会です

(一社) 男女共同参画地域みらいねっと

防災・減災活動 4の柱



1. 多様性配慮の避難所運営訓練

参加者の主体性を大切に、多様性配慮、個別のニーズに対応できる「生きのびるため」の避難所づくりや運営について学びます。



2. 地域防災人材育成事業

ジェンダー視点を取り入れた防災の理解を深めることで、誰一人取り残さない地域防災の担い手の育成を目指します。



3. 防災ネットワーク事業

災害時の被災者支援には、多様な分野の人たちの力が必要です。そのために日常における「つながり」の場づくりをします。



4. 将来の地域防災の担い手育成

「自然災害への対応力」のみならず、「社会の脆弱性の改善」をめざした防災教育を実施し、地域防災力の向上につなげます。これまで小学生から大学生まで述べ110回、10,000人以上を対象に実施してきました。



受賞歴

- ▶第5回ジャパンSDGsアワード「特別賞」受賞（2021年12月）
（主催：SDGs推進本部、本部長：内閣総理大臣）
- ▶SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞「教育部門」受賞（2022年10月）
- ▶とうほくSDGsアワード2022「奨励賞」受賞（2022年9月）
- ▶青森市男女共同参画推進表彰「団体の部」受賞（2021年10月）
- ▶公益社団法人程ヶ谷基金
第11回男女共同参画・少子化関連顕彰事業「活動賞」受賞（2020年10月）



Japan.
Committed
to the SDGs

一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと
〒030-0841 青森市奥野2丁目1-18-505
TEL 090-8789-2724 FAX 017-775-5313

E-mail: g.mirainet@gmail.com HP: <https://aomori-mirainet.com>

受講生募集



女性防災リーダー育成プログラム 2025 五所川原会場

女性防災リーダーが創る 誰一人取り残さない地域防災

過去の災害の教訓として、防災に女性の参画の必要性が問われています。

避難所運営や復旧、復興のプロセスの中に女性の参画があれば、
多様な人々への配慮やニーズに気づき、災害関連死を防ぐことができたと考えられます。
声をあげ実践できる女性防災リーダーをめざし学びます。

2025年11月—2026年4月【全7日間/13講座】



主 催：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと

協力団体：あおぞら組eleven
後 援：青森県・五所川原市

*本事業は、「もつとずつとぎと基金」の助成対象プロジェクトとして、株式会社フェリシモのご支援をいただき、開催するものです。

(写真上) 女性防災リーダー育成プログラム2023青森会場の受講生の皆さんと関係者

(写真下) ジャパン女性防災リーダーサミット2025(2025.1.13開催)の参加者の皆さん

女性防災リーダー育成プログラム 2025

女性防災リーダーが創る 誰一人取り残さない地域防災

実施期間 ▶ 2025 年 11/2(日) — 2026 年 4 月【全 7 日間/13 講座】

対 象 ▶ 女性 25 名

- ・防災・減災に関心のある人
- ・自主防災組織や町内会、PTA など地域で活動している方
- ・防災士の資格を持っているが何をして良いかわからないという方
- ・地域などでこれから活動を始めたいと考えている方

受講費用 ▶ 5,000 円(学生は 3,000 円)
*ランチ交流会に係る費用は自己負担

会 場 ▶ 五所川原市民学習情報センター等、五所川原市内会場
(五所川原市宇ツ谷 503-5)

募集期間 ▶ 2025年9月 1 日(月)～10 月15 日(水)
*定員を超えた場合は下記に該当する方を優先し決定します
①全講座参加可能な方
②講座での学びを実践する活動拠点がある
③地域団体やNPO団体等からの推薦を受けている

修了要件 ▶ 修了者には修了式で修了証書を授与する
*修了要件は、全講座の 8 割以上を受講したものに授与する

応募方法 ▶ 受講申込書を募集期間中に E メール、FAX にて提出してください。
*受講申込書はホームページからもダウンロードできます。
(<https://aomori-mirainet.com>)

お申込・お問合せ

一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 研修担当
TEL 090-6452-6332(受付時間平日9:00～16:00)
FAX 017-775-5313
E-mail watanabe@aomori-mirainet.com

感染症対策として下記について参加者をお願いします。
体調不良や高熱等の症状がある場合は、参加をご遠慮いただきますのでご了承ください。

Web フォームからも
申込みいただけます。



プログラム概要

学び

気づき
考える

実践

ふりかえり

アクションプラン
作成・発表

- ▼交流とマインドアップ
- ▼ジェンダー視点を取り入れた防災・減災についての理解
- ▼スキルアップ講座
- ▼実践:ジェンダー視点を取り入れた避難所運営訓練
- ▼被災地支援活動(任意)
- ▼フォローアップ支援事業
- ▼ネットワークの構築



プログラム

研修時間等については、多少変更になる可能性もあります。

日 程	内 容	講 師 等
1	◆開講式 ◆オリエンテーション ◆基調講演(公開講座) ジェンダー視点による防災・減災力の“質的”向上をめざして、私たちが取り組むことは ◆ワークショップ 語り合おう、地域の防災力 UP について	浅野 幸子 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表 早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員 小山内 世喜子 (一社)男女共同参画地域みらいねっと 代表理事
2	◆グループワーク ◆マイタイムライン ワークショップ「マイタイムライン～経験したことのない大雨 その時どうする?～」 ◆被災地での支援活動(録画講演) 「気づく視点をもつ!被災時にサポートが必要な方へできること～能登半島地震被災地支援から～」	あおぞら組 eleven 藤田 淳 一般社団法人日本気象予報士会東北支部 青森担当 幹事 浦野 愛 認定 NPO 法人レスキューストックヤード 常務理事
3	◆グループワーク ◆コミュニケーションスキルアップ 話し合う力 ～リーダーとして必要な話し合いのスキルの習得～ ◆先輩女性防災リーダーの事例紹介と交流	あおぞら組 eleven 遠藤 智栄 まちづくりアドバイザー・ファシリテーター 宇野 絵美(青森市)・永野 睦子(弘前市) GECM-net(女性防災リーダー修了生の会)
4	◆グループワーク ◆災害への備え 次の災害への備えとして ～大槌町の地区防災計画ができるまで～ ◆ワーク ジェンダー視点を取り入れた避難所運営訓練事前準備	あおぞら組 eleven 野坂 真 青森公立大学 准教授 小山内 世喜子 (一社)男女共同参画地域みらいねっと 代表理事
5	◆避難所運営訓練 実践!誰一人取り残さない避難所設置・運営 ◆対人コミュニケーション 災害関連死ゼロを目指した「寄り添い支援」と「連携」	・男女共同参画地域みらいねっと ・GECM-net 小山内 世喜子 (一社)男女共同参画地域みらいねっと 代表理事
2月予定 (任意)	◆能登半島地震被災地支援	
6	◆アクションプランの作成 「学び」を「かたち」に ～私のチャレンジ～ ◆アクションプランの発表 女性防災リーダーの活躍、アクションプランの実現! ◆修了式	・男女共同参画地域みらいねっと ・澤田 文子(青森市やはぎ町会事務局長)
7	◆フォローアップ研修・交流会 能登半島地震・避難所運営リーダーを囲んで語り合おう「その時どうしたの?」 ◆被災地女性リーダーとの対話	橋詰 里美(予定) 穴水中学校避難所運営リーダー・防災士